

令和6年度 学校経営グランドデザイン

小野小・中学校
共通スローガン

めざせ！あいさつ日本一の町 小野町

学校経営の基本方針

「笑顔があふれ学ぶ意欲に満ちた学校」

生徒も保護者も地域も教職員も

- (1) 生徒の夢が育つ学校
- (2) 地域のよさを実感し、自信と誇りを持つ
- (3) 信頼される学校づくり
- (4) 仕事への生きがいと責任

【教師像】

- 「すべては生徒のために」を第一に
- 使命感と倫理観のある教師
- 学び続ける教師＝アクティブラーナー
- 心身ともに健康である教師
- 一言の重みを理解している教師
- 互いに認め高め合う教師
- 積極的に「ほめる」教師
- 笑顔で挨拶ができる教師
- 指導の機会を逃さない教師
- 地域からの声に真摯に対応する教師

教育目標

夢 ~自立・友愛・健康~

- 目指す生徒像
- ・課題を持ち、進んで学ぶ生徒
 - ・互いのよさを認め、高めあう生徒
 - ・健康で、心身を鍛える生徒

教師の願い

全ての生徒が生き生きと、
思いを込めて活動する中で、
友を思いやり、互いに信頼できる
人間関係を構築し、自分の夢
(進路)を実現してほしい。

保護者の願い

健康で安全な学校生活、そして
思いやる温かい心を持ち、夢を持って
学習や運動に励んでほしい。

生徒の願い

自分の夢(進路)が実現できると
共に、友と学び合い、支え合い、磨き
合い、心が通いあう、充実した
学校生活を送りたい。

地域の願い

地域の子とも大人が交流し、
大人も子どもから学ぶなど、
学校を中心とした人づくり・
地域づくりをしたい。

重点課題

- (1) 学力・読解力の向上
- (2) 豊かな人間関係の育成
- (3) 基本的生活習慣の確立

(1) 学力・読解力の向上 学校の命は「授業」

「将来にわたって生きてはたらく学力」を！

- ① 「指導と評価の一体化」による授業改善
- ② 読解力の育成
- ③ 特別支援教育の環境の充実

(2) 豊かな人間関係の育成

「学びの心」を！

- ① 心の教育・道徳教育の充実
- ② 互いに信頼できる人間関係の構築
- ③ 自己管理能力の育成

(3) 基本的生活習慣の確立

「人間力」を！

※人間力：自立した人間として力強く生きていくための総合的な力

- ① 日常生活指導の充実・凡事徹底
- ② 食育・保健・安全指導の充実
- ③ 気力(元気・本気・根気)と体力の向上

総合的な学習

- 課題追究や体験学習、人や物との出会いを通して、自分自身の生き方を見つめる活動を展開する。
- 家庭や地域との連携を図る活動を積極的に取り入れ、生徒の活動を支援する。
- 話し合い活動や表現活動を積極的に取り入れる。

特別活動

- 互いの良さを認め、よりよい集団を築き上げようとする態度を養う。
- 自治的活動を通し集団の一員としての自覚・役割の大切さに気づかせる。
- 各行事では、体験活動等を通して、他との関わりを深め、豊かな人間性や社会奉仕の精神を養う。

特別の教科 道徳

- 他の教育活動との連携を図り、学校教育の全ての場面において機会を捉えて指導する。
- 道徳的価値について理解を深める「考え議論する」授業を実践する。
- 問題解決的な学習、体験的活動など多様な指導方法の工夫をする。

技術・家庭

- 作る喜びと成就感が持てるように、教材選択と作業時間の確保に努める。
- 教え合い、学び合いのグループ活動を通して、能率的に学習が進められるように、工夫する。
- 個に応じた指導と援助をする。

保健体育

- 保健・安全の知識を身につけさせ、心身の育成に努める。
- 継続的・効率的に運動する習慣の育成を図り、体力と気力のある生徒の育成に努める。
- 仲間とともに課題解決ができるよう場の設定を工夫する。

美術

- 造形の基礎力の育成に努める。
- 個に応じた指導を充実させ、創造することの楽しさを味わえる授業に努める。
- 互いの表現を認め合い、良さや様々な表現を積極的に学ぼうとする姿勢を作る。

音楽

- 音楽の楽しさを体験させ、生涯に渡って親しんでいく態度を育てる。
- 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能や創造的な表現力の能力を高める。
- 幅広い音楽鑑賞を通して、音楽に対する総合的な理解を深める。

社会

- 地理・歴史・公民の各分野において基礎・基本の定着を図る。
- 一人ひとりの生徒の学習状況を把握し、わかる喜びが実感できるようにする。
- 一斉学習・グループ学習においても学び合う楽しさを味わうことができるようにする。

理科

- 個別指導の充実により、基礎的な内容の定着を図る。
- 自然事象に対する興味・関心を高める課題の提示の仕方を工夫する。
- 班活動において、観察実験結果をもとにした、話し合い活動の充実を図る。

実践内容

- 「授業スタンダード」を基盤に、「主体的・対話的で深い学び」と「個別最適な学び」の実現に向け「指導と評価の一体化」による授業改善を図る。
- 「家庭学習スタンダード」を基盤に、生徒一人一人が自主学習の質的改善を図れるよう「自己マネジメント力」を育む。
- 教育活動全体をとおして、読解力(「聴く・読む力」「伝える力」「語彙力」)を育成する。
- 特別な支援が必要な生徒の指導・支援を充実させるために、「特別支援教育の視点での授業づくり」と「学びの支援体制づくり」を行う。

実践内容

- 考え・議論する道徳の授業の実践を通し、道徳的实践力と道徳的価値の自覚を高める。
- 「感謝」「思いやり」「自信」「誇り」「礼儀」を行動や言葉として表現できる生徒を育成する。
- 自己存在感や自己決定の場を創出するとともに生徒に寄り添い共感的人間関係を構築する。
- 「ハートフルプログラム」を活用して学級の基盤づくりを行う。
- 教育活動全体を通して、自尊心を高め、気づき、考え、実践できる、内面的資質を高める。
- 身につけるべき規範意識は、繰り返し教え導く。

実践内容

- 人間力強化のために、学校、家庭、地域及び関係機関等の4者間の連携・協働を図り、新たな不登校ゼロを目指す。
- 「響くあいさつ」「とどく返事」を基本とし、「当たり前」のことを当たり前でできるように、教え・導き・支援する。
- 自分の命は自分で守るため、通学時の安全指導と防災・防火・防犯・SNS教育を繰り返し実施する。
- 健康の保持増進のため、食育指導を家庭との連携を密に行う。
- 健全な心と体力の向上を目指し、走ることを基本とした部活動指導を充実させる。

家庭・地域・学校の「連携・協働」による 開かれた学校・地域とともにある学校

- ・授業参観(年3回+小野中オープンデー)・学校Webで情報発信(随時)・学校だよりの発行(年12回)・学年だよりの発行(週1回程度)
- ・保健だよりの発行(週1回程度)・秋葉(しゅうおう)祭の公開(10月)・PTA奉仕作業(年3回・各学年)
- ・学校運営委員会の開催(年3回・授業参観時)・特別支援学級入学希望保護者の見学会(9月)
- ・コミュニティ・スクールの機能を生かした学校経営・町地域学校協働本部との連携による学校行事(職場体験、夏井川清掃等)の実施

1 学年

- 生徒理解に努め、思いやりのある学年・学級づくりに努める。
- 中学生として授業・家庭学習に継続的に取り組む学習態度を育てる。
- 中学校生活のリズムを身につけさせ、部活動などに積極的に参加できるようにする。

2 学年

- 生徒一人ひとりが安心して、楽しい学校生活を送ることができる学年・学級集団を育てる。
- 授業・家庭学習に対して、自主的・計画的に取り組む学習態度を育てる。
- 生徒理解に努め、教師と生徒、教師と保護者との信頼関係を深める。

3 学年

- 義務教育最終学年として、自主的に活動できる学年・学級集団を育てる。
- 各自の進路目標実現に向けて、積極的な学習・行動ができるようにする。
- 生徒・保護者理解に努め、話し合いや連絡、情報交換により信頼関係を深める。

国語

- 教材ごとに学ぶ領域(話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言語事項)を明確にした授業を行う。
- 5つの言語意識(相手・場面・目的・方法・評価)を育む学習活動を工夫する。
- 個に応じて言語能力を高めることができるような読書指導を行う。

数学

- 身近な事象や論理展開の面白さを通して数学への興味・関心を育てる。
- 学習形態の工夫や個に応じた指導により、基礎学力や応用力の向上を図る。
- ICTの活用等、学習方法の工夫・改善に積極的に取り組み、指導に生かしていく。

英語

- わかる喜び・自分の思いを伝え合う楽しさを醸成する英語指導をする。
- 個に応じた学習活動を積極的に行い、生徒の参加を重視した授業に改善する。
- 言葉の仕組みを知り、その背景にある文化を理解できるようにする。